ストレスフルな暮らしに
森のなかの「いのちの響き」を
環境サプリメント 水琴®

イライラや不調の原因はいつもの環境の音のせい？

冷蔵庫が夜中に唸る。エアコンが強い風を吹き始める。そんなときに室内の騒音にふと気づくことはありませんか？

現代の生活環境は、パソコンや自動車など「響き」や「ゆらぎ」が含まれていない単調な低周波「人工周波」の音で埋め尽くされています。知らないうちに耳障りな音を聴かされ続けているのに、慣れてしまって気づかないだけなのです。それは環境の変化に適応するために人間に備わっている恒常性のおかげ。とはいえ、テレビの電源を消したり、パソコンから離れたりすると、心身がホッとゆるむのは、それだけ身体が緊張していたからかもしれません。

一方、自然界には倍音の響きやゆらぎを含む高周波「自然周波」の音が溢れています。鳥のさえずり、虫の声、風に揺れる木々の葉ずれの音、川のせせらぎ、打ち寄せる波などは、地球が奏でるオーケストラのようです。それらの心地よい音は心を癒すだけではなく脳にとって必要なエネルギーの90％を与えるのだそうです※。自然の叡智により直感やひらめきが冴え、潜在能力が開花するのです。自然周波が少ない都会の喧騒のなかでは、知らず知らずのうちにストレスが溜まり、脳は慢性的なエネルギー不足に陥っているともいわれています。心身を休めたいと思ったとき、自然のなかに行きたくなるのは、人としての本能なのかもしれませんね。

心地よい高周波の水琴の音でいつもの部屋を森のように

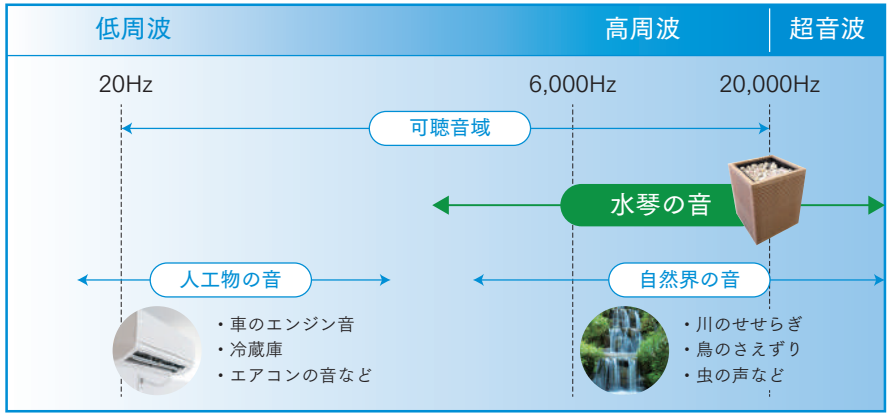
自然界の音にはどんな音があるでしょうか。風に吹かれてゆれる木の葉のざわめきや、鳥の声も素敵ですが、国土の7割が森林の日本では、古来、川のせせらぎ、滝の音、波の音など、水の音が親しまれてきました。あの音を日々の暮らしのなかで聴くことができたら心地いいと思いませんか？

「水琴®」は室内で「水が流れる音」を聴き続けることができる、弊社代表の大橋智夫が独自に開発・設計した音響装置です。陶器の甕（かめ）を硬質の容器で包んだ二重構造の空間で、したたり落ちる水滴の音が複雑に響き合うように設計されているため、高周波が何重にも響き合い、やがて超高周波を生み出します。不規則に落ちる水滴が響き合う「水琴」の音には、倍音とゆらぎを含んだ自然周波がたくさん含まれています。森のなかのような豊かな自然周波を暮らしの環境に再現することができます。

日本の神社の多くは「鎮守の森」と呼ばれる森に囲まれています。鎮守の森の木々は地中の水を導管を通して吸い上げ、葉から蒸散するという具合に水を循環させています。そうやって外界と遮断して神聖な場所を守っています。そこには人間の耳には聴こえない樹木たちが発生する音が存在します。水といっしょに音も循環しているのです。水琴があれば、あなたのお部屋もそんなパワースポットにすることができます。

耳には聴こえない音もからだは聴いている？

人間が聴くことのできる可聴音域はおよそ20 kHzまで、それ以上の周波数を持つ音波は「音」とみなされませんでした。しかし近年、可聴域よりも高い超音波を含む音を全身で聴くことが、脳に心地よさをもたらすことが報告されています。人間は音を「耳」だけではなく皮膚など「全身」で聴いているのです。この現象は科学者の大橋力らの研究によりハイパーソニック・エフェクト（超高周波反応）と名づけられました。熱帯雨林などでは100 kHz以上の超高周波を豊かに含んでおり、そのような超高周波成分を含んだ〝複雑に変化する音〟を聴くと、報酬系神経ネットワークを含む人間の脳機能が活性化されることが明らかになってきています。



※フランスの医学博士アルフレッド・トマティスの言葉。医学博士・篠原佳年著『モーツァルト療法』より

水琴の5つの魅力

3 不規則に変化し続ける一期一会の音

私たちの身体は体重の約70%が水。また、生まれる前は、母親の胎内でも羊水に守られています。人は一生、身体の外から中からずっと水の音のゆらぎや響きを聴きながら生きているのです。水琴の音は二つと同じ音はありません。一期一会の音です。一見変わりなく見える私たちの身体も、常に細胞が生まれ変わり続けているように、水琴からは新しい音が生まれ続けます。音を意識的に聴こうとする行為は考えようによっては執着。不規則に変化し続ける響きを体感することは、無意識のうちに執着やこだわりを手放す練習をしていることになる、とも考えられるのではないでしょうか。

1 倍音を含む高周波を全身で聴く

バイオリンの名器といわれるストラディバリウスはマイクを使わずに、小さな音色でコンサートホールの端まで奥行きのある共鳴音を届けます。この響きこそ倍音と呼ばれるオクターブ音で、倍音が発生すればするほど周波数も倍になり、より高周波になっていきます。その倍音生成の原理を応用し、特許取得の音響技術を駆使して徹底的に響きを追求した結果、エネルギーの高い自然周波を繰り返し効率よく再現することに成功しました。そのため水琴はハイパーソニック・エフェクトを提供できるのです。

4 杉の無垢材に特許取得のスリット加工

「水琴五行」のカバーは、自然の杉が持つ効能を引き出すために、杉の無垢材に特許取得の独自のスリット加工を施したもの。木口面をより多く露出させることで空気洗浄力を高めることに成功！　調湿作用が高くカビなどの増殖もふせぎます。スタイリッシュでどんなタイプの部屋にもなじむのはもちろん、杉のほのかな香りがリラックス効果をもたらします（「水琴五行」のみ）。

5 音を邪魔しない高性能静音ポンプ

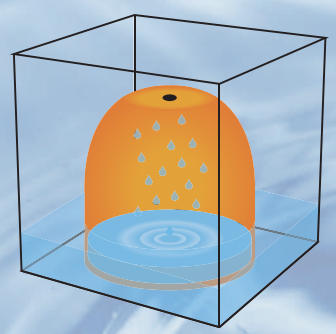
水琴の水を循環させるために採用したのはドイツ製の高性能静音ポンプ。水中のモーターからはほとんど音がしないので、水滴から発生する高周波を邪魔することはありません。

3つの方法で音を調整できます

❶水を循環させる「静音ポンプ」の水量を調整する
❷筧の向きを変える
❸玉石を並び替える
※お気に入りの霊泉を入れるのもおすすめ

2 独自開発の陶製の甕（かめ）

筧（かけひ）から流れ落ちた水滴が、内蔵された陶製の甕に響いて高周波が発生します。細部までこだわってつくった甕をボックスに内臓した二重構造で、屋内外を問わずさまざまな場所でお楽しみいただけます。



「水琴窟」って知ってる？

「水琴窟（すいきんくつ）」をご存じでしょうか。庭園の排水装置として江戸時代に生まれたといわれており、手を洗うための手水鉢（じょうずばち）から落ちた水滴が、地中に埋めた甕の中で響き合い、美しい音を発する原理を応用した日本独自の庭園文化です。水琴は、そんな水琴窟を現代に復活させ室内外に設置できるように独自開発したものです。

水琴はどんな音？

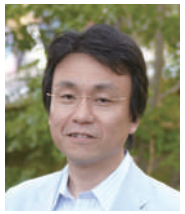
音を聴いてみる

https://youtu.be/PMlYF3uXV88

水琴 誕生ストーリー

大学時代、水利工学を専攻し水の物理的な動きを研究していました。卒業を目前に、大学院で研究を続けるか、形もないのに人を感動させることができる「音」の道に進むか、どちらの真理を追求するか悩みました。そして音楽の道へ進むことを決意。作詞作曲した歌を全国のライブハウスで歌っていましたが、「人の心を癒す音」について研究したくなったのです。当時、感じていたのが、深層意識と表層意識で聴いている音が違うということ。音楽の好みは人それぞれ。すべての人に共通しているわけではありません。でも、波の音や鳥の声など自然の音を聴いて不快な人はいない。さらに鼓動や血流の音は、無意識のうちにずっと自分が聴いてきた音です。これこそが深層意識の音であり、重要な音だと気づきました。

そこで意識の層を何段階かに分けて、深層から表層までいろいろな音を入れていく独自の作曲方法を試みました。ピアノやシンセサイザーの音を使って、規則性のあるリズムと、不規則なリズムとメロディとを合わせてBGMのような楽曲を作りました。それを少年鑑別所で聴いてもらいたいと大学教授に相談したところ水琴窟の音のようだと言われました。その後、少年鑑別所でこの楽曲を就寝前に毎日放送する機会をいただくと、少年たちが親御さんに向けて謝罪の作文を書き始めたという報告を受けたのです。このことを学会で発表すると水琴窟の研究者から資料を託され研究を引き継ぐことになり、後押しされるように会社を立ち上げ、水琴窟の調査を始めました。産地や素材の異なるさまざまな甕に水滴を落とす実験・研究を地道に続けていくうちに「水琴窟研究の第一人者」としてテレビの全国放送で取り上げられ、水琴窟の音を収録したCDを作ったところ大反響があり、「水滴の音には癒し効果がある」と確信しました。そこで持ち前の水利工学の知識や図面設計の技術を活かして、水琴窟を設計・製造。室内設置可能な箱状の水琴窟を開発し、ハイパーソニックを提供する装置に昇華することができました。それが『水琴』です。



大橋 智夫
（おおはしとしお）

音・環境プロデューサー。有限会社ティーズ・コーポレーション代表取締役。京都大学農学部農業工学科（水利工学専攻）卒業。音が心身に及ぼす影響を研究しながら音空間デザインを手がけてきた。開発した「水琴（みずごと）」は、イタリアの聖フランチェスコ大聖堂（世界遺産）に世界平和祈念として納められ、ミラノサローネ2005、愛・地球博2005に出展。世界学術研究アカデミー賞を受賞し、ローマ法王と謁見。その功績は国内外で高く評価されている。著書は『奇跡の周波数「水琴」の秘密』（ヒカルランド）など多数。

お客さまの声

クリニック内に水琴の自然音が響いているおかげで、自然による癒やしを取り入れた、病院らしくない理想の環境づくりができています。水琴は24時間いつでも場の空気をクリーニングしてくれるような気がします。患者さんを見ていると、水琴の音色を聴くことでリラックスされる方や実際に自律神経の活力が上がった方もいらっしゃいます。また、不眠症の方には劇的に効き、こちらが驚くこともあります。私自身も、疲れを感じた時は水琴の音を聴きながら瞑想することで、短時間で心身がリフレッシュし、再び活力が沸くので助かっています。

癒やしの杜にしかわ
クリニック院長
西河 潤 様

宝塚温泉
ホテル若水社長
小早川 優 様

「ホテル若水」という名前の影響からか水を大切にしたい想いがあり、水琴窟にも興味がありました。水琴の音は心地よくリラックスできると感じ、お客さまにも楽しんでいただきたく設置を決めました。アイディアが瞬時に浮かぶようになったり、頭がスッキリして判断力が増したりという変化を感じています。水琴の周囲で会議をしたところ従業員からいいアイディアがたくさん生まれました。水琴を設置したロビーラウンジには「居心地がいい」とお客さまがよく立ち寄ってくださるようになりました。不思議と生けた花も長持ちしホテルが活気づいたように感じます。

1年半ほど前に脳の手術をしたことがきっかけで水琴の音を聴き始めました。手術後、病気は完治したものの毎日のように頭の痛みがありました。ところが、水琴を置いてから、いつのころからか痛みが気にならなくなってきました。水琴は仕事部屋に置いてあるのですが、頭や心がクリアになっていくように思います。気持ちが前向きになり仕事の効率もよくなりました。以前は深夜まで仕事をしていると、寝つけないときもありましたが、今はすぐに熟睡できて目覚めもすごくいいんです。パサパサだった髪が水琴の音を聴くようになって、なぜか艶やかで指通りが良くなったんですよ。

インテリアデザイナー
一級建築士
中村 真由美 様

水琴®　Mizugoto35 タイプ

10 年に渡る水琴窟の研究開発と施工経験、イタリアで開催される世界最大級の家具見本市ミラノサローネに出展した循環式家具型水琴窟「サローネ」の開発経験を活かしながらも、お求めやすいサイズと価格で商品化しました。

水琴五行

ピソリーノを特許取得の杉木ロスリット材で覆いました。杉材、陶器、鉱物、水で陰陽五行説の宇宙の５つの力「木火土金水（もっかどこんすい）」が揃ったことから、水琴五行と命名しました。

価格 ： 230,000 円（税・送料別）
大きさ：380mm × 380mm × 500mm
重さ：23kg（内蔵水琴・玉石含む）
カラー：ブラック、オレンジ
※キャスター付属

ピソリーノ

場所を選ばすに小スペースで設置でき、取り扱いも簡単。ブラックは月（陰）、オレンジは太陽（陽）を表しています。陰陽セットで設置するとさらに高周波が広がります。ピソリーノはイタリア語で「お昼寝」という意味です。

価格 ： 150,000 円（税・送料別）
大きさ：300mm × 300mm × 400mm
重さ：14kg（内蔵水琴・玉石含む）
カラー：ブラック、オレンジ
※キャスター台付属

よくある質問

①注文するには？

注文書（FAX 可）、お電話にてご注文いただけます。入金確認後の発送となります。
お支払い方法は、銀行振込、クレジットカードによる支払いが可能です（代金引換可：手数料 400 円）。
※月額払いのレンタルから始める「水琴シェア」のシステムもあります。

②すぐに設置して使えますか？

箱から出して７L の水を入れて電源を入れるだけです。設置方法を解説した「セッティング動画」を見ていただけますのでご安心ください。

③メンテナンスの方法は？

一週間に一度程度、水量を確認してコップ約一杯の水を追加し、１年に１～２回水を抜いて洗浄してください。
３～5年でモーターの交換が必要になる場合があります。

お問合せ

音で暮らしに潤いを
有限会社ティーズ・コーポレーション
〒600-8487 京都市下京区橘町 31-1-202
https://www.suikinkutsu.net/
Ts corporation